

さいたまけんりつとしょかん 埼玉県立図書館だより

～あなたの調べるを応援します～

Saitama Prefectural Library Newsletter

案内・相談



各種申込

各種サー

- ◆コピーサービス
- ◆オンラインデータベース



特集

埼玉県立図書館の
レファレンス・サービス

みなさまの
調べ物を全力で
お手伝いします

暮らしに、仕事に、勉強に役立つ！ レファレンス・サービス

こんにちは。みなさんは、何かを調べたいときにどのようにされていますか？
今回は、調べものに役立つ図書館の基本的なサービス「レファレンス・サービス」について、詳しく紹介します。

レファレンス・サービスとは？

「調べ物をしたい」「疑問を解決したい」というご要望に応じて、図書館が資料や情報を提供するサービスです。

図書館司書が探索スキルと様々な資料をフル活用し、あなたの「知りたい」に応えます。「こんなことを聞いて良いのか」と思われる場合も、まずは、「ご相談ください」。レファレンスサービスは、学術研究や仕事の調査だけでなく、日常生活の疑問や趣味の探求にも役立つことがあります。

どうすれば利用できるか

図書館のカウンターで司書に直接相談できるほか、電話やFAX・WEBフォームなどを通じて、来館せずに対応することができます。いずれの場合も、「ご依頼の際に、事前の利用登録は不要です。依頼された方のプライバシーを守りますので、お気軽にご利用ください。

レファレンス・インタビューをします

調べ物のご相談を受ける際、依頼された方の知りたいことについて、あいまいな部分を明確にするため、職員が丁寧に聞き取りをする「レファレンス・インタビュー」を行っています。例えば、「昔読んだ絵本を探してほしい」というご依頼であれば、物語のあらすじや登場人物、読みだ時期など、できるだけ詳しく伺います。

このレファレンス・インタビューで得られた情報は、調査の方法と方向性を決定する重要な材料となります。どんな分野の資料をどんなキーワードで探索するか。質問を受けた司書は探偵よろしく、すばやく調査戦略を立てます。

WEBサイトからの申込方法

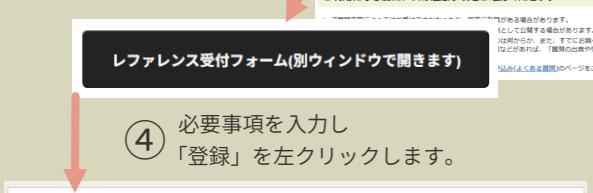
右記の二次元コードからアクセスできます。

① 県立図書館のウェブサイトにアクセスします。



③

注意事項等をご確認いただき、ページの中ごろにある「レファレンス受付フォーム」を左クリックします。



④ 必要事項を入力し「登録」を左クリックします。



図書館へ届きます

原則として1週間以内にメールで回答します

図書館では、
どう調べているのか

図書館には、
調べるものに
精通した司書がいます。

図書館にある専門的なデータベースや、信頼性の高いウェブサイトも調査に活用します。例えば、学術的なデータベースを使って最新の研究成果を提供することもあります。

調査終了後、複数の職員で確認し、よりわかりやすい回答を作成して、回答や資料をご提供します。この際、必ず複数の出典をお伝えします。さらに詳しく知りたい時には、継続して調査もできます。

利用する際には、
具体的にお伝えいただくことが重要です。例えば、特定の本を探している場合は、「著者名やタイトル、出版年」を伝える、調査テーマがある場合は必要な情報のレベル（入門から専門知識）を明確にしていただくことで、より迅速かつ正確な回答をご提供できます。

うまく言葉にできない場合、モヤモヤした疑問でも、職員がサポートをしますので、ご安心ください。

質問の内容は幅広く、例えば「埼玉県の歴史に関する資料を調べたい」「特定の病気についての信頼できる情報を知りたい」といったものから、「昔読んだ絵本をあらすじだけで探してほしい」といった記憶に基づくご依頼や、素朴な質問にもお応えしています。

どんな質問があるか

玉県の歴史に関する資料を調べたい」「特定の病気についての信頼できる情報を知りたい」といったものから、「昔読んだ絵本をあらすじだけで探してほしい」といった記憶に基づくご依頼や、素朴な質問にもお応えしています。

TBSの朝の情報番組「THE TIME」（同年5月14日）では「進化する図書館」の一例として埼玉県立図書館のレファレンス・サービスが紹介されました。

東京新聞朝刊2025年4月20日埼玉版15面でも「あなたの調べ物 全力でお手伝い」という見出しで紹介されています。



TBSによる取材の様子

レファレンス協同データベース

注目度の高い調査事例

レファレンス協へ調査事例提供の意義と成果

埼玉県立図書館では、年間約500件のレファレンス（参考調査）を受け付けており、その中から特に調査に役立ちそうな事例を選び、レファ協に提供しています。令和六年度には、約二二一件の事例を提供しました。これまでの累計では、約一万件のデータが提供されています。

平成二一年から十七年連続で国立国会図書館から「御礼状」を受け取るなど、その貢献度は高く評価されています。特に、事例の閲覧数が多く、令和六年は全国一位でした。



国立国会図書館
レファレンス協同
データベース事業

調査事例を活用するための取組の一環として、埼玉県立図書館は、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」（以下、レファ協）へ事例を提供しています。このデータベースは、全国の図書館が協力して調査事例を蓄積・共有する仕組みです。インターネット上でも見ることができます。他の図書館が同様の質問を受けた際に利用者だけでなく、学生・研究者・マスコミなど幅広い層の人々に活用されています。

調査事例を活用するための取組の一環として、埼玉県立図書館は、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」（以下、調査事例）と呼んでいます。調査事例には質問内容や回答だけではなく、調査の手順や調査に使用したツールなども記録されています。そのため、調査事例を広く共有することは、他の図書館が同様の質問を受けた際に利用者だけでなく、記録されています。

そのため、調査事例を広く共有することによって、他の図書館が同様の質問を受けた際に利用者が「知りたい」に応えるためのヒントになり、他の図書館サービス向上にもつながります。

HASEGAWA LETTER 長谷川香料技術レポート

比喩的な意味ではない。ページを開くと、ほのかに香る、そんな素敵な本（正しくは雑誌）が実は久喜図書館にあるのである。

「HASEGAWA LETTER 長谷川香料技術レポート」は香料会社である長谷川香料株式会社が発行していた雑誌で、1994年に創刊2020年に休刊し、現在は「HASEGAWA LETTER online」としてウェブサイトで情報発信が行われている。久喜図書館に所蔵があるのは2008年から2020年のもの全15冊である。この15冊はウェブサイトで一部の記事が公開されているものの、大部分は記事タイトルのみの掲載で、本文を読むことはできない。この雑誌には、香料の研究や技術に関する論文・報告などがまとめられている。表紙裏には「香りの美術館」と題し、毎号1枚の絵画とコラム記事、最終ページには「編集後記」ならぬ「残り香ひとこと」、

そしてこの雑誌を「香る本」たらしめている秘密…なんと毎号異なる香料を染みこませたシートが封入されているのである！！図書館員に成りたての頃、未来の電子百科事典では食べ物の写真（画面）からその食べ物の香りがしたりするようになる、と何かで見聞きした。あれから四半世紀…。そのような事典どころか紙資料でも「HASEGAWA LETTER」以外に「香る本」を私は知らない。オンライン化の波の中、リアルな体験しか得られない経験や知識というものがやはりある、と図書館員として改めて思う。この大切な紙資料を今後も大切に保管し後世に伝えていきたい。

（紹介者 自然科学・技術資料担当 吉田）

『HASEGAWA LETTER 長谷川香料技術レポート』

長谷川香料株式会社
(所蔵館 久喜図書館)



司書がおすすめする、埼玉県立図書館所蔵の本や雑誌、CDなどをご紹介します。

図書館と県民のつどい埼玉 2025

桶川市民ホール・さいたま文学館 2025.12.14 sun 11:00~16:00



- | | |
|-------------------------|-------------|
| 中学生のビブリオバトル決勝 | 13:30~14:30 |
| 展示・体験さまざま図書館企画 | 11:00~16:00 |
| ・謎の手紙と失われた思い出 | |
| ～謎解きin図書館と県民のつどい埼玉2025～ | |
| ・ブックケア（展示・体験） | |
| ・記憶と記録に残したい図書館 | など |
| わらべうた実践講座 | 13:30~15:30 |
| 学校図書館講座 | 13:30~15:30 |
- ※一部の企画には定員があり、事前申込が必要です。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ほかにも図書館に関する企画が盛りだくさんです。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

参加無料！ 年に1度、県内最大級の図書館イベント

図書館と県民のつどい埼玉2025ウェブサイト <https://www.sailib.net/tudo-i2025>

